

CORAL × Collaboration

# コラルポ

04  
2021.2



## コラル30周年に向けて

今年、2021年は、1991年に三鷹駅前再開発における第六ブロック共同ビル（現在のネオンシティ三鷹・三鷹コラル）が着工されてから30周年。そして再来年の2023年は、三鷹コラルが竣工・オープンし、三鷹駅の駅前広場第一期整備事業が完工してから30周年です。

そこで、これからの3年間を三鷹コラルの30周年期間として、『コラルポ』の表紙にて、コラル建設以前の三鷹駅前の姿をご紹介します。

下の写真は、現在のベデストリアンデッキやその前身の駅前歩道橋が整備される前、1970年前後のものと思われる。今のコラルの場所にあるのは富士銀行、現在のみずほ銀行です。



三鷹駅前銀座商店会  
『三鷹駅前60年史』より▶



## 三鷹コラル情報誌『コラルポ』の思い

タイトルの「コラルポ」は、ビル名の「コラル」と英語の「コラボレーション」(Collaboration: 協力や協業、協働)を足し合わせた言葉です。三鷹コラルは、お客様をはじめとした地域の皆さま、団体・企業と連携・協働しながら、より魅力的な店づくりに取り組むとともに、このまちの商業を活性化し、三鷹駅前をより素敵な場所へと成長させていきたいと願っています。

この『コラルポ』を起点に、地域に新しいつながりや活動を、そしてそこから生まれる笑顔を増やしていけたら幸いです。

## Contents

- コラル人 ピカデリーサーカス [1F] 田中早苗さん、クリーンスタッフ 中村イチ子さん 蟻川節子さん
- コラルニュース  
三鷹市美術ギャラリーに「太宰治展示室 三鷹の此の小さい家」がオープン!
- 駅前とともに歩んで 手記 三鷹の今昔 [その4 三鷹駅前商店会]

5F・三鷹市美術ギャラリーに  
常設展示室

# 太宰治展示室 三鷹の此の小さい家 がオープン!

三鷹といえば、文豪・太宰治。文学史上の著名な作家というだけでなく、没後70年以上を経て今でも若者に読みつがれている稀有な存在です。また観光ガイド協会のガイドツアーはコロナ禍でお休みとなっていますが、それまでは毎週多くの方が、太宰ゆかりの地を巡りに三鷹を訪れていました。2020年12月、太宰ファンにとっての新たな聖地が三鷹コラル内に誕生! 三鷹市スポーツと文化財団「太宰治文学サロン」の学芸員の吉永麻美さんにお話を伺いました。

2014年に、三鷹市は太宰治(本名「津島修治」)のご遺族から資料の寄託を受けました。この貴重な資料を展示するために生まれたのがこの展示室です。

実は、この計画ができる以前から、太宰治文学サロンに集うボランティアのみなさんと、太宰の旧居の間取りの再現に取り組んできました。残されている資料が非常に少なく、太宰のもとに集っていた弟子たちの回想などから丹念に情報を集め、再現模型を製作するまでに至っていました。

今回、その成果を活かし、太宰の三鷹時代に実感を持って触れていただけたらという趣旨で、旧居の間取りを再現した展示室になったのです。

太宰の書齋であった6畳間には、靴を脱いで上がっていただけるようになっています。そして、愛用したモデルに近い二重廻しを羽織り、文机に座って、実際に筆を執っていただけるという体験型展示になっています。

晩年の作品から、暗いイメージを持たれることの多い太宰ですが、とても子煩悩で、三鷹の家の書齋での執筆作は明るい作風のものが多くあります。残念ながら展示室の完成を見ずに昨春に亡くなられたご長女の津島園子さんも、駅からすぐのこの環境で、そうした側面を多くの方に知ってほしいと願われていました。ぜひ、ファンの方にとって太宰をより身近に感じられる場として、まだ触れたことのない方には関心を持つきっかけの場として、多くの方にご来訪いただけたらと思います。



太宰治展示室 三鷹の此の小さい家  
コラル5F 三鷹市美術ギャラリー内  
TEL 0422-79-0033  
[開館時間] 10:00 ~ 18:00  
[観覧料] 無料 [休館日] 毎週月曜日・年末年始  
※月曜日が休日の場合は開館、翌日と翌々日休館  
※展示替えなどにより臨時休館あり



近くの太宰治文学サロン  
(下連番3-16-14)  
には再現模型も!



1F ピカデリーサーカス 三鷹店  
TEL 0422-44-8185  
営業時間: 10:00~21:00



## 第4回 ひと コラル人

三鷹コラルには、商品へのこだわりやお客さまへの熱い思いを持ったスタッフが揃っています。そんな個性あふれる「コラル人(ひと)」の声をお届けしていきます。第4回は1F「ピカデリーサーカス」の田中早苗さん、そして、クリーンスタッフの中村イチ子さん・蟻川節子さんです。

### Interview その1

ピカデリーサーカス  
田中 早苗さん  
TANAKA Sanae

#### — 新米ママさんの育児相談所!?

三鷹店を担当して約6年の田中さん、お店の特徴を、「お客さまの暮らしの中にあること」だと言います。

「吉祥寺や中野の店舗は、街にお買い物に来たお客さまが立ち寄るお店。でも、三鷹は保育園のお迎えや会社帰りなど、日常生活の中で利用されるお客さまが多いので、他店に比べて会話が弾むことが多いです」

実際に、保育園でママ友ができる前の、初めての育児に不安を抱えるお母さんたちの相談役になることがたびたびあるそうです。

また、親御さんとお子さんとの「こっちがいいんじゃない?」「こっちがいいの!」と意見が分かれたときに、お子さまのこだわりが受け入れられるように仲裁に入ったり、遠方のお孫さんにどんな洋服を選んでいいか困っている年配のお客さまから詳しくお話を伺ってアドバイスをしたりと、小さなお店の店頭は、まさに子供服選びの相談所になっています。

#### — 子どもたちを笑顔にする商品を

以前は大人の女性向けの服飾を扱っていたこともある田中さんですが、「お客さまの相談に乗りながら、子どもたちの成長に寄り添う今のお仕事は断然面白いし、毎日が本当に楽しい」と語ります。

「以前にご購入いただいた商品とサイズを覚えていきますので、常連のお客さまなら、『もっこのサイズがいいと思いますよ』『今回はこの色がいいと思いますよ』と、お客さまが選ばれたものに対して、こちらからご提案することもあります」

お客さまがご希望の商品を売ることだけではなく、お役に立つ商品、実際に身にまとうお子さんが喜ぶ商品をご提供したいという強い思いが感じられます。

しかしながら、幼児向けのお洋服の専門店ということで、仲良くなった常連さんもお卒業してしまいます。お客さまとのコミュニケーションが大好きな田中さんに、そのことを寂しくは思わないかと尋ねると、「最初のお子さんのときから末っ子まで長いお付き合いになるお客さまも多いですし、常連だったお子さんが、大きくなってからも声をかけてくれるんですよ」と心底うれしそうに答えてくれました。

### Interview その2

クリーンスタッフ  
中村イチ子さん 蟻川 節子さん  
NAKAMURA Ichiko ARIKAWA Setsuko

#### — お客さまが 明るい気持ちになれる環境を

同じ年にクリーンスタッフとして勤め始めた同期のお二人。コラルの地下1階から4階まで、全館の清掃を担い続けて12年になります。

何よりも心を配っているのは、お客さまが明るい気持ちでお買い物を楽しんでいただけるようにすること。雨天時は、水滴でお客さまが転んだり不快な思いをすることのないようにと、こまめにモップかけを行うようにしています。

また、コロナ禍になってからは、ドアノブや手すりの消毒など、毎日毎日念入りに対応しています。

#### — 気になることがあればぜひ気軽に声を

そんなお二人、一番心を痛めているのは、「自分たちが知らぬままに、館内に汚れたままの状態があること」と声を揃えます。

「フロアで飲み物をこぼしてしまつことや、お手洗いを詰まらせてしまつことは誰にでもあることです。近くのお店に声をかけてくだされば、すぐに私たちが駆けつけます。でも、そのまま立ち去られてしまうと、転んで怪我をされる方、不慣れな思いされる方が出てしまつ。そうしたことのないようにしたいのです」

そんな思いのお二人に、労いの声をかけてくださるお客さまも多いそう。「お手洗いの清掃の際に、『いつもきれいで気持ちがいいです』と声をかけていただいて、疲れも吹き飛びました」と顔をほころばせます。そんなお客さまに恵まれていることに、改めて三鷹のまちの良さを感じました。



# 駅前とともに歩んで 手記 三鷹の今昔 その4 三鷹駅前商店会

三鷹コラル商店会の会員が、駅前に生まれ育ちその歴史とともに歩んで来られた先輩方から、手記の寄託を受けました。先輩方が先人から伝え聞きあるいは調べられた地元の歴史、実際に見聞された昭和中期以降の出来事などについて、次世代に伝えたいとの思いで70代・80代を過ぎてからまとめられた貴重なメモです。寄託を受けた会員を通して、本誌にてご紹介していきます。

三鷹駅前中央通りの商店会は、三商店会に分かれています。三鷹駅よりスクランブル交差点までを、「三鷹駅前銀座商店会」という。スクランブル交差点から佐野薬局までを「三鷹中央通り商店会」、そこから突き当たりの連雀通りまでを「三鷹南銀座会」という。

昭和の始め頃の駅前通りや広場は今より大分狭かった上、桑畑があったりして、まだ商店街とは名ばかりで道幅も狭く人通りも少なかった。1939(昭和14)年に舗装工事をするまで、砂利をまいただけで非常に歩きにくい広場と道路だった。当時は広場の方が駅前道路より高かったので坂道になっていた。雪が積もるとその坂を竹を割ったスキーで遊ぶ子供たちがいた。

三鷹駅前銀座商店会では、三鷹駅が1930(昭和5)年に開業する1年前に、新井久七氏が「三ツ矢酒店」を創業。商店会の結成に尽力し、三鷹商工会、三鷹商店会連合会、三鷹商業協同組合の初代会長を歴任、東京小売酒販組合常務理事を務めたほか、三鷹市議会議員も務めた。後にビルに改装、長男栄一氏が後を継いで営業していたが、2013(平成25)年9月からはコーヒー店に場所を貸している。

三鷹駅が出来た年に加登屋ハキモノ店、柏屋そば店、日本堂書籍・文具店などが出店した。加登屋ハキモノ店は、戦後、私と従弟である二代目の代に福屋と屋号を改めて食堂になり、さらにとんかつ専門店に転業した。現在は孫が店を引き継いでいる。柏屋そば店も、コラルビル4階で孫がそば店を引き継いで営業している。日本堂書籍店は、先代の従弟が文具店として引き継いでいる。

1932年(昭和7)年には三鷹美容室が開業。終戦直前に夫が戦死し、以後、夫人の塚本サキ氏が子供たちを育てながら事業を一人で経営した。駅前の婦人たちのリーダーとして活躍する一方、三鷹商工会副会長、東京都美容環境衛生同業組合理事長を務め、1986(昭和61)年に勲五等瑞宝章を受賞した。続いて戦前に開業した三越時計店と三鷹薬局は、マクドナルドが入っているビルで現在も営業している。

品川用水の蓬莱橋(現在のスクランブル交差点)そばにあった橋本タクシーは1934(昭和9)年に営業を始めた。私の父の弟だ。当時の三鷹は、どしゃ降りの雨で、駅前の通りはくるぶしまで埋まるぬかるみになっていた。少しはたしになるかと敷かれたジャリにハンドルをとられる、何とも運転しづらい厄介な道路だった。

黒塗りのシボレーの運転席には制服に身をつつんだ弟の益治の姿があった。そして後部座席には、往診に向かう中村病院の院長が得意げに座っている。当時、自家用車はおろか営業用のトラックさえまだ数えるほどしかなかった時代だった。「先生、今日は何軒回りますか?」「うん、5軒くらいかな」。1軒1円として5円、それがその日の益治の収入だった。当時駅前にあった医院が益治の御得意さんだった。往診に使うのだが、1軒につき50銭から1円50銭という料金は、真夜中の急患でたたき起こされる辛さを割り引いても、悪い金額ではなかった。小さな一軒家なら15円で借りることが出来たころである。なにしろ三鷹に1台きりのタクシーである。都内には「円タク」と呼ばれる料金1円のタクシーが走っていたが、三鷹に関しては競争相手がないのだから、料金の決め方も実に大ざっぱだった。成田山までが10円、花見時期の小金井や村山までが50銭くらいではなかったか、という。

橋本タクシーの黒塗りのシボレーは庶民のあこがれだった。私達兄弟も小学生の頃は、雨が降ると新川の小学校まで母がタクシーを頼んでくれた。三鷹にはまだ病院など無かったので、産気づいた婦人を広尾の日赤病院までとか、華やかな花嫁を直接新郎の家へとか、そういう時は自動車を磨く手に力が入ったという。1台で始めたタクシーはやがて2台になり、運転手も雇って、益治本人がハンドルを握ることはなくなった。そのままいけばさらに成長しそうな事業だったが、数年後には廃業してしまう。戦争でガソリンが手に入らなくなったためだ。

橋本福雄氏よりご寄稿

\*個人の手記であり、原文を尊重して掲載しております。ただし、編集部にて漢字表記や送りかな等の修正を行っています。

## 三鷹コラル営業のご案内

[営業時間] B1F-3F ショップ 10:00~21:00  
4F グルメ処 11:00~23:30  
※一部の店舗は除く  
[定休日] 1月1日、4月と9月の第二水曜日

三鷹コラル公式アプリ  
ご利用ください→



2021年2月27日 第4号  
発行: 三鷹コラル TEL 0422-41-0105  
制作: BUN-SHIN 株式会社 文伸  
TEL 0422-60-2211



本誌のご感想をぜひお寄せください!  
✉ coral@bun-shin.co.jp (編集部)

## 三鷹コラル フロアのご案内

5F 三鷹市美術ギャラリー  
3F 本の街  
1F バラエティクラブ [11店舗]  
4F グルメ処 [飲食 4店舗]  
2F おしゃれ通り [服飾・雑貨 7店舗]  
B1F 三鷹市場 [生鮮3品、食品等 8店舗]

## 駐車料金サービスのご案内

三鷹コラルでは、**地下2階の駐車場**や、**タイムズさくら通り駐車場**で、以下の駐車料金サービスを行っています。店舗ご利用時には駐車券をご提示下さい。三鷹コラル館内で1店舗でのお買い上げ、

**2,000円以上のご利用で 30分 無料** **4,000円以上のご利用で 60分 無料**

1回のお買い上げで最大60分が限度となります / テナント間のレシートの合算は行いません / 当日分のレシートのみが対象となります / 3階の啓文堂書店・5階の三鷹市美術ギャラリーでは当サービスは行っておりません / 4階のレストラン街においては、10,000円以上のご利用で1時間30分の無料券を発行いたします / 都合により、一部情報が変更になる場合がございますので、ご了承下さい。